

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.30		-		3.0
1 音環境				3.2	0.15		-		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板を採用		4.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.9	0.25		-		2.9
3.1 昼光利用				2.4	0.30		-		
1 昼光率				2.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度		事務室の平均照度:500lx以上1000lx未満		4.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.5	0.25		-		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御				3.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.3
1 機能性				3.2	0.40		-		3.2
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高:2.7m。窓が設置されている。		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースを1%以上設置。自動販売機を設置。		5.0	0.33		-		
3 内装計画		建物機能への具体的な取り組み、内装と照明を一体として計画、事前検討		4.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材の保管・洗いの確保、清掃用流し・電源の確保等		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VLP(B)、排水VP(B)、通気VP(B)、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比率<0.3	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		床許容荷重は15000N/m ²	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		街並みの調和に配慮し、緑地による良好な景観を形成し、周辺の主要な視点場からの良好な景観形成も検討した。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][EIm] = -	-	-	-	-	-
4 効率的運用			2.0	1.00	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマに加えて、節水型便器も採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		塩ビシート(屋内廊下床等)、岩綿吸音板(事務室天井)、タイルカーペット(事務室床)	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のデテイルを採用し、OA707も採用している。	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法に該当しない建築種別が1つ以上ある。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の性能値の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼設備の設置なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な台数の駐輪場及び駐車場を確保し、荷捌き用車両の駐車施設も確保した。車両の出入り口は、OUT(出入り口W=8438)・IN(出入り口W=11393)をそれぞれ専用にして周辺道路の渋滞緩和対策としている。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.50	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1)車路面の照度5lx以上を確保し、照明範囲は必要最小限としている。2)点滅させない、動かさない、着色しない照明としている。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	